

I. 課題名

ワークスペースのインテリア

II. 設計条件

1. 計画目的

都市部の環境のよい敷地にあるビルを改修してつくる開放的なワークスペースである。多様な業種の様々な働き方に対応できるスペースとして、それぞれが仕事をしながらも、交流を深めることができるインテリアを計画する。

2. 周辺状況及び建築物の概要(図-1、2)

- 周辺状況
 - 敷地は、都市の公園に面しており、駅からのアクセスが良好である。
- 建築物の概要
 - 構造、階数——鉄筋コンクリート造、4階建て(1・2階は店舗、3階は事務所)

3. ワークスペースの概要

- 会員制の施設である。
- 受付、コピーサービス、宅配等の受取りのため、スタッフが1名常駐する。

4. 設計対象範囲(図-1、2)

- 設計対象範囲は、4階建ての4階部分(床面積約190m²、テラス約60m²)である。
- 利用者の出入口は、通路側に1箇所以上設け、他の出入口は適宜設けてもよい。
- 所要スペースは、下表のとおりとする。

所要スペース	特記事項
エントランス	<ul style="list-style-type: none"> 受付カウンターを設ける。 スタッフ用の机及び椅子を1組設ける。 コピー複合機(W600mm×D700mm×H950mm)を設ける。
ラウンジスペース	<ul style="list-style-type: none"> 交流や打合せ、休憩のために利用する。 テーブル及び椅子を16席以上設ける。(4人用打合せコーナー2箇所を含む。) ワークショップ等のイベントにも使用する。 飲食は可とする。 ドリンクカウンターを設ける。 ディスプレイ60インチ(W1,400mm×D120mm×H900mm)を設ける。
ワークスペース①	<ul style="list-style-type: none"> 16人用の大テーブルを設ける。 すべての席から屋外の緑が感じられるようにする。
ワークスペース②	<ul style="list-style-type: none"> 個人が仕事に集中できるスペースとする。 パーティション席(W1,400mm、H1,200mm程度のパーティションで1席ずつ仕切る。)を10席以上設ける。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> 8名以上が利用できる会議室を1室設ける。 打合せやプレゼンテーションを行うものとする。 予約制とする。 扉を設ける。
Web会議用ブース	<ul style="list-style-type: none"> 2m²程度×3ブース設ける。 予約制とする。 扉を設ける。
電話用ブース	<ul style="list-style-type: none"> ワークスペースやラウンジ等の利用者が通話をする際に使用する。 1m²程度×3ブース設ける。 扉を設ける。
テラス	<ul style="list-style-type: none"> 仕事、交流、休憩など、多目的に利用する。 適宜屋外用家具を配置する。
ロッカー	<ul style="list-style-type: none"> W300mm×D500mm×H900mmを30人分程度(上下二段)設ける。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 5m²程度とする。 机、椅子等の備品を収納する。
その他必要と思われるスペース・家具は、適宜設けてもよい。	

(4) 床、壁等の設計条件は、下表のとおりとする。

部位	特記事項
床	<ul style="list-style-type: none"> 仕上材は自由に設定できる。
柱及び梁	<ul style="list-style-type: none"> 解体・撤去はできない。その位置は、図-1、2に示すとおりである。
壁等	<ul style="list-style-type: none"> 図-1、2に示す「壁又は開口部を設定する範囲」内の任意の位置に、壁又は開口部を設ける。 解体・撤去ができない壁は、図-1、2に示すとおりである。 間仕切壁は適宜設けることができる。 適宜設けることができる。
天井	<ul style="list-style-type: none"> 適宜設けることができる。

(5) 空調・換気設備、給排水衛生設備及び電気設備は、自由に設定できるものとする。

III. 要求図書

(1) 設計製図答案用紙〔1〕、〔2〕の所定の位置に、下表の要求図書を完成させる。

要求図書	特記事項
平面図兼家具配置図(縮尺1/50)	<ul style="list-style-type: none"> 主要な寸法を記入する。 スペース名又は室名を記入する。 家具、器具等の配置を記入する。 床、壁及び天井の仕上げを記入する。 天井高及び床レベルを記入する。(4FLを±0とする。)
透視図	<ul style="list-style-type: none"> 設計主旨をよく表している部分を描く。 家具と人物を描く。 図の大きさは、W300mm以上、H200mm以上とする。 彩色する。
スケッチ	<ul style="list-style-type: none"> パーティション席まわり(椅子を含む。)を描く。 主要な寸法及び仕上げを記入する。
設計主旨	<ul style="list-style-type: none"> 計画上工夫した点を説明する。

(2) 鉛筆、色鉛筆、製図ペン又はマーカーのいずれを用いてもよい。

(3) 図面は、フリーハンドでもよい。

(4) 寸法単位は、mmとする。

図-1 平面図 縮尺1/100 (下書用)

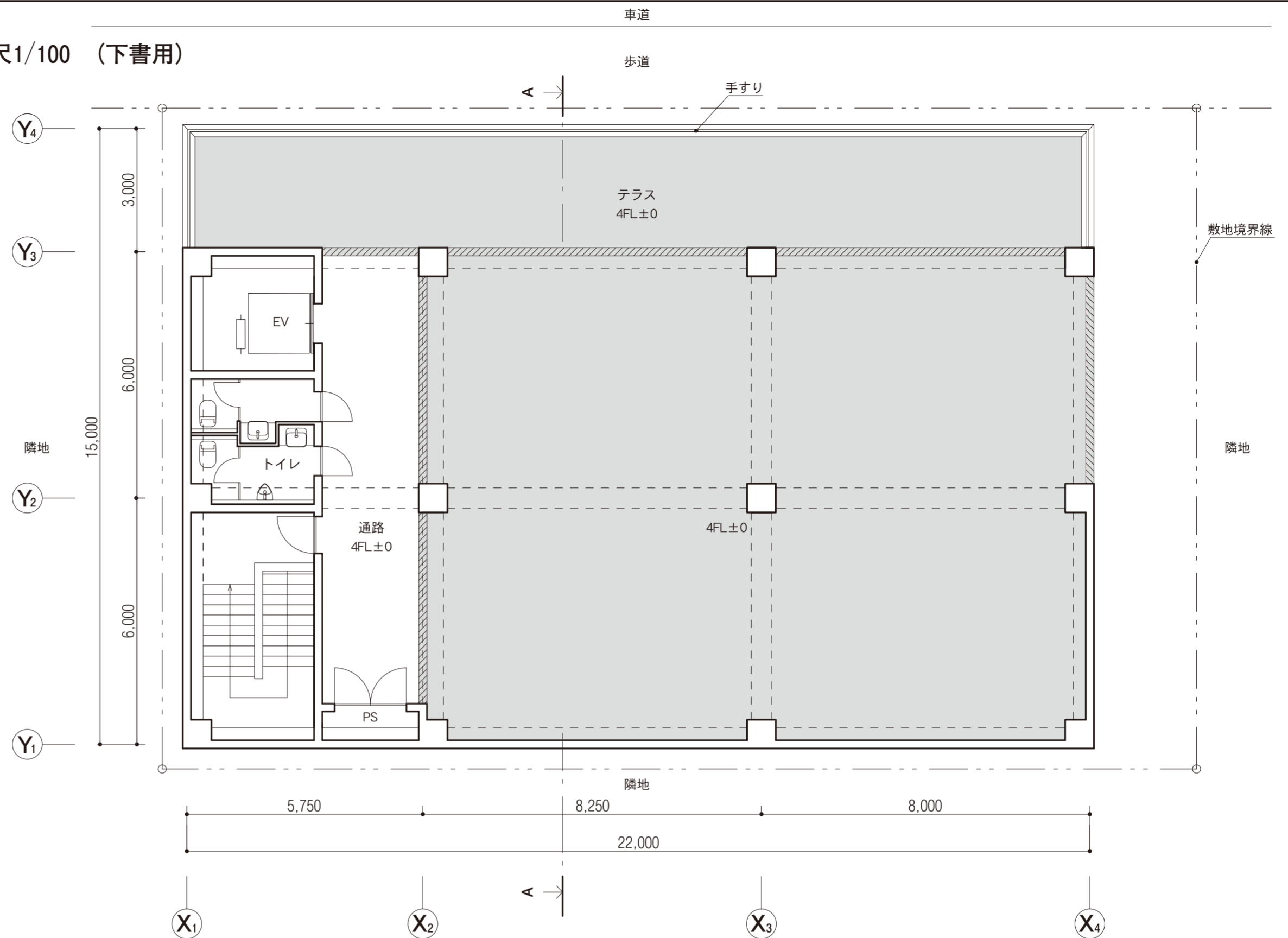
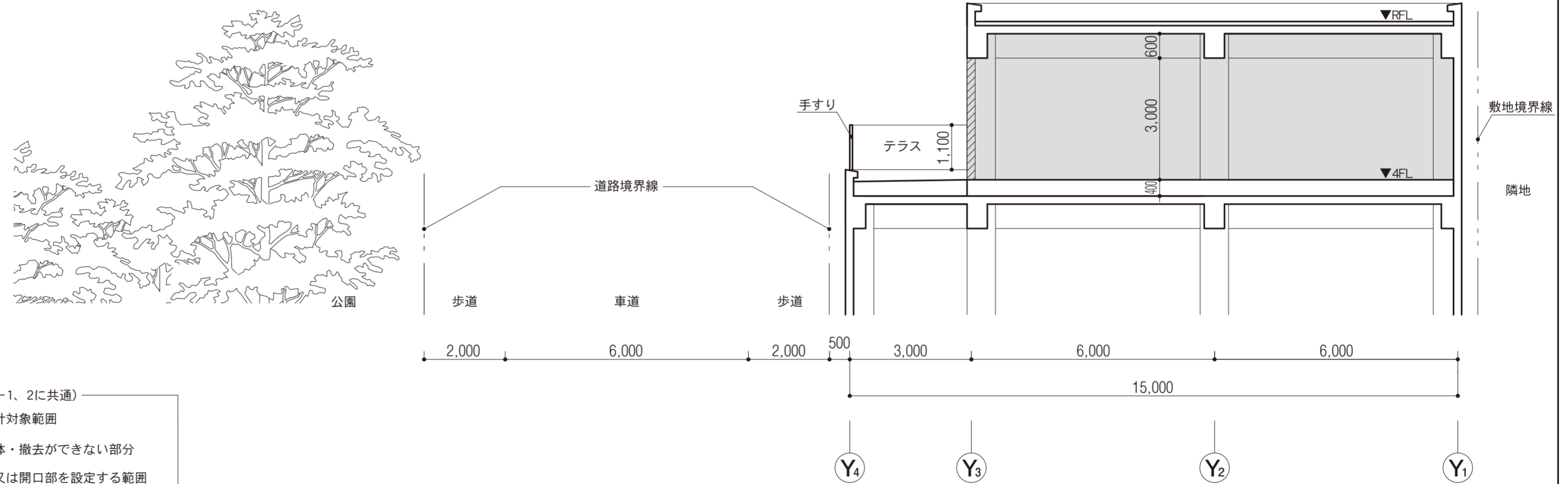


図-2 A-A 断面図 縮尺1/100



凡例 (図-1、2に共通)

■	設計対象範囲
□	解体・撤去ができない部分
▨	壁又は開口部を設定する範囲

INTERIOR PLANNER 令和3年度インテリアプランナー試験 設計製図問題用紙

試験地	受験番号	氏名

この問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り、持ち帰りを認めず(中途退出者については、持ち帰りを禁止します)。